

「DOTJ（日本整形外傷データベース）」説明書

大分大学医学部附属病院は、日本骨折治療学会の要請をうけ、日本の骨折治療の質をさらに向上させ、患者さまに安心して治療を受けていただくために「DOTJ（Database of Orthopaedic Trauma by JSFR）」登録に参加しています。

1. 趣旨

DOTJは、日本における四肢長管骨開放骨折の手術・治療情報を登録し、集計・分析することで、外傷治療成績の向上をはかる整形外傷登録制度です。整形外傷治療に積極的に取り組んでいる全国の病院がこの登録に参加しています。

2. 参加することのメリット

DOTJに登録したデータを分析することで、四肢長管骨開放骨折の、

- 疫学
- 治療方法
- 合併症
- 治療結果
- 治療結果に影響する因子

など様々なことが明らかにされます。

また、これにより全国レベルでの医療水準が明らかとなり、各施設や地域、国との間での比較が可能となります。さらに、経年的な比較を行い、医療の進歩を検証することもできます。

3. 個人情報の安全確保

このデータベースでは、患者さまの診療情報、個人情報を守るため、データが匿名化されます。外部からの不正な侵入に対して厳格に保護されています。たとえデータを見れたとしても、患者さまの情報がどこの病院のものなのか、さらにはどの地域のものなのかさえわからないように、安全に管理いたします。

4. 情報登録を望まない場合

このデータベースへの登録を取りやめたい場合は、担当医にご連絡いただくか、下記ホームページより書式をダウンロードしてFaxあるいはe-mail送信していただければ、いつでも登録を中止することができます。もし、参加されなかった場合や途中で参加を取りやめた場合でも、今後の診療に何ら不利益を被ることはありません。

DOTJホームページ<http://dotj.org>

担当医師名：整形外科金崎彰三、野谷尚樹